RIPPLE SAILING CLUB
NO. 91

月刊 1990・4・15

RIPPLE

（発行） ¥500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

駅伝ヨットレースは6月3日(日)です。

来る6月3日（日）第6回セーリングスポット対抗駅伝ヨットレースが行われます。
今年は場所を逗子海岸に移しての開催となります。
既に皆さんご存じのこの大会も第6回目を数えるまでになりました。過去最高の記録は3位で、区間優勝は何度か取ったもののまだ総合優勝は取っていません。そこで今年こそは総合優勝を狙ってみたいものですね。

また、今年は競技内容が一部変更になっております。それは、陸上マークを回るときに今までてしたらシーホッパーを8名のチーム構成員が担いで回っていましたが、今年は肩から掛けたタスキを利用してコースを走り終わった二人が二人三脚で回るという形になりましたので間違わないで下さい。まーダイナミックさには欠けると思いますが、歩調が会わず転ける選手が続出の場面が期待できそうですね。

でもって参加者を大募集中ですので奮って参加をして下さい。また目玉賞品もケンウッド観戦ツアーも賞品で上げちゃおーかと検討中です。これは、19日の総会で決定する予定です。

本格的セーリングシーズン開幕!!

去る4月15日（日）各セーリングスポットではセーリングの幕開け行事として何かしらのイベントを行い、今年の本格的なセーリングシーズンに突入しと事を祝いました。
ここ長浜ではお隣ファーイーストと合同でまず、ヤマハのスタッフを招いて艇のメンテナンス、それもFRPを使用しての修理の仕方を専門的にこと細かくテキストを使用しての講習会を開催致しました。総勢20数名の参加者はアバウトには心得が有るものの、専門スタッフの実演を交えての講習に真剣に聞き入っていたのである。

そして、午後からは各スポットに戻り当リプルでは久々のバーベキューパーティーを開催いたしました。
朝方小雨のぱらつく相にくの天気であったが、バーベキューの始まる頃には男性群は上半身裸になっても汗ばむ初夏の陽気の中で、やまちゃんこと山崎氏の名幹事役で作ってくれた大根おろしのぽんずのたれで塩湖沼で焼いた牛肉をほうばりながら、ビールを飲み今年の抱負なんかを語り合ったのである。

クラブジャンパー出来てます。

大変長らくお待たせ致しておりましたクラブジャンパーが届いております。申し込まれた人は春の湘南をドライブがてらに引き取りに来て下さい。
三色プリントでとてもおしゃれな感じに仕上がっております。皆さんきっと喜んでくれると思う出来ばえです。何かの時に是非着て下さい。
また、お支払いの済んでいない方は下記口座までお支払いをお願い致します。

お振込先
湘南信用金庫　武山支店
普通口座　3157954
リプル・セイリングクラブ

料金は13，900円です。

27マイル先の小島

いかにも漁港特有の魚の臭いのする桟橋を彼は歩いていた。
肩には二三泊するであろうことが理解できるような例のセーリングバックが掛かっていた。
満月に近い月明りのため照明の無い所でも速度を落とさずに進む彼の行く手にはメロンシャーベット色の30Fともあろうかのクルーザーがぼーっと浮かび上がってきたのである。スターン部分に記してある艇名はグレイのアルファベットで書いて有るのが理解できても読み取る迄にはいかなかった。
春先特有の干満の差が大きいためか、またハーバーの様に浮き桟橋で無いためかそのシャーベットカラーの艇は浮き上がっているようにさえも見えたものである。
スタンションを乗り越え各部のオーニングを取りキャビン内に入った彼は、馴れた手付きで最小の光量の基で艇に命の息吹を蘇らせて行った。ふと何年か前にライセンスを取ったときの試験の事が思い出され、誰もいないキャビンの中で”冷却水注入バルブよし！”、”燃料コックよし！”、”スターンチューブよし！”等と声を出して言ってしまった彼である。

エンジン始動もいっぱつで掛かりオイルが回った事を確認し、心地よい回転数まで上げ、今まで薄暗かったキャビンをこうこうと明るくしたのである。
船尾灯、両色灯、Instrument等のスイッチをONにし、デッキ上も帆走体制に迄完了した彼は、コーヒーの香りの充満するキャビンで明朝早く到着するであろう27マイル先の海図上の小島を見つめていたのである。
家を出かける前に取った天気図では10ノット前後のEの風の後入港する頃にはSに振れるなーと予報官にでも成ったように想いコーヒーをすする彼であった。　一時も経っただろうか月明りに照らされてぼーっと白く浮き上がっていた艇のキャビンの明りが”ふっ”と消えたかと思うと静かに岸壁を離れゆっくり、ゆっくり小さく小さくなって行ったのである。
近くで夜釣りを楽しんでいた4、5人の人には、彼の艇への息吹を吹き込んだ事も、かぐわしいコーヒーの香りもまた27マイル先の小島に向かった事も全く理解されず、ただキャビンが明るくなって、また暗くなって岸壁を離れたな一位にしか思われていなかったのである。

クルーザー会員募集中!!

もう見飽きた記事になりますが、またまたクルーザー会員募集の記事です。
既にご存じの通り当クラブの所有艇のヤマハ30−Cが先日4月1日より進水し、既に会員になられた人達とクルージングを楽しんでおります。（と言うよりまだまだ勉強会と言った感じです。）でもってまだまだ会員を募集中ですので、希望者は申し込んで下さい。
大ざっぱな会員規約は下記の通りです。

入会資格	リプルの会員か会員のクルーに限ります。 近い将来4級以上のライセンスを取れる人。 一人でも操船しようと努力する人。
乗艇資格	上記の資格者と資格者の配偶者と子供、資格者の配偶者となろうとする人。
入会金	150，000円
月会費	6，000円（お知らせしてある通り初年度はGOサインが既に出たので4月にさかのぼり、1年分全納。次年度4月より毎月銀行振替。）
使用艇	ヤマハ30−C（中古艇）
係留場所	現在は深浦港ですが将来は佐島港の予定。
募集人員	40名